

東大海研事第89号
平成25年7月1日

各関係研究機関の長 殿

東京大学大気海洋研究所 所長
研究船共同利用運営委員会 委員長
新野 宏
(公印省略)

平成25年度 東北海洋生態系調査研究船(学術研究船)「新青丸」の
共同利用公募について

標記のことについて、別紙のとおり公募いたしますので、貴機関の関係者に周知
方よろしくお願いいたします。

東北海洋生態系調査研究船(学術研究船)「新青丸」は、東日本大震災後の復興関
連研究にも活躍した学術研究船「淡青丸」の老朽化を踏まえ、その後継船として補
正予算により建造されたもので、「新青丸」の利用により震災復興に資する研究の一
層の推進が期待されています。「新青丸」は本年6月末に竣工し、海洋研究開発機構
による海上試験航海(7-9月)にて基本性能や安全性等の確認を経たのち、10月よ
り共同利用航海に供されることとなりました。

本年10、11月は、物理・化学・生物・地学・生物資源の分野毎に大気海洋研究所
を中心とする航海計画(公募外)を組み、船舶搭載機器、共同利用観測機器、可搬
型機器等について安全性も含めた一層の習熟を図り、12月以降を一般共同利用公募
による航海に充てたいと考えております。平成26年1、2月にはドック工事とドッ
ク後の試験航海が予定されておりますので、本公募による航海期間は12月および3
月となります。なお、平成26年度は年間を通じて通常の共同利用航海を実施する見
込みで、平成25年7月中には公募を開始する予定です。

公募要領－新青丸の共同利用

1. 公募内容

平成25年6月末に竣工予定の東北海洋生態系調査研究船（学術研究船）「新青丸」（淡青丸後継船）による、全国の大学・研究機関のための共同利用研究航海を公募します。平成25年度は試験航海・習熟航海に約5か月を要し、1、2月はドック工事・試験航海を行うため、共同利用航海に提供できる時期は12月および3月で、航海日数は40～50日程度の見通しです。新青丸要目（資料を添付）の詳細は研究航海企画センターまでお問い合わせください。なお、平成26年度の共同利用研究航海については、平成24年度並みの航海日数を想定しており、7月中には公募する予定です。
2. 申し込み資格

国・公・私立大学及び公的研究機関の研究者、並びにこれに準ずる者としてします。
3. 乗船資格

国・公・私立大学及び公的研究機関の研究者、並びにこれに準ずる者、大学院学生、研究生です。大学院学生、研究生は「学生教育研究災害傷害保険」等への加入を条件とします。
4. 申し込み方法

郵送（印要）とe-mail（印不要）の両方で行ってください。
東北海洋生態系調査研究船（学術研究船）新青丸共同利用研究申込書1通（様式1）
e-mailによる提出：Wordバージョン（様式1）を添付
東京大学大気海洋研究所 事務部 国際・研究推進チーム
〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5
TEL:04-7136-6009, 6010 FAX:04-7136-6039
Mail:iarp@aori.u-tokyo.ac.jp
5. 申し込み先
6. 申し込み期限

平成 25年 7月 31日（水）（厳守）
7. 審査

研究船共同利用運営委員会の作業部会として、全国の海洋研究者の中から、各分野のバランスを考慮して選ばれた委員により組織される運航部会（18名）において、申請された研究計画の評価作業を行います。評価にあたっては、研究目的・内容、研究実施計画の具体性・妥当性、研究業績、研究の先進性・学際性を総合的に検討し、この評価結果を基に、研究船共同利用運営委員会が計画を審議し、運航計画の最終案を作ります。また、震災復興関連の研究航海を歓迎します。
8. 採否の通知

平成 25年 9月上旬予定
9. その他

「申込書の作成にあたって」をよくお読み下さい。
本公募要領及び各申込書類は本所ホームページ
(<http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>)に掲載されています。
各申込書の書式はホームページよりダウンロードできます。
本公募内容等についてのお問い合わせは下記に願います。
東京大学大気海洋研究所 研究航海企画センター
TEL:04-7136-8173, 8175;Mail: kikaku@aori.u-tokyo.ac.jp